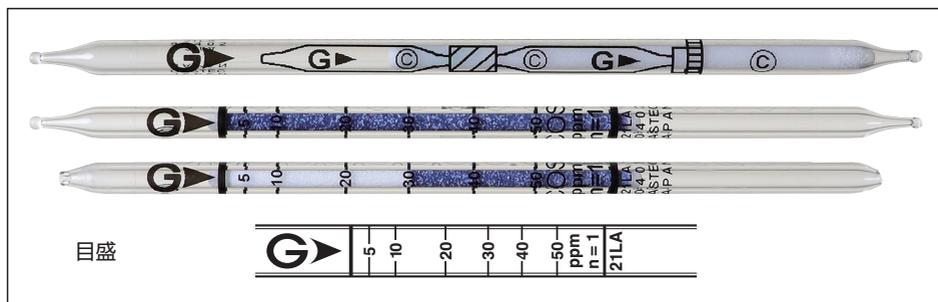


硫化カルボニル COS

No.21LA

Carbonyl sulfide



仕様

測定範囲	2 ~ 5 ppm	5 ~ 50 ppm	50 ~ 125 ppm
吸引回数	2回 (200mL)	1回(基準) (100mL)	1/2回 (50mL)
係数	0.4	1	2.5
測定所要時間	6分	3分	1.5分

検知限度： 0.8 ppm (2回吸引)

変色： 青紫色 → 白色

温・湿度補正： 温度

有効期間： 36 か月 冷蔵庫保存 (10℃以下)

変動係数：

G	CV=10%	CV=5%
	目盛範囲の1/3	目盛範囲の2/3

(CV：変動係数 = σ : 標準偏差 ÷ 平均値 × 100)

反応原理

硫化カルボニルは二酸化イオウに酸化され、ヨウ素デンプン反応により脱色し、白色を呈する。



干渉ガス

ガス名	共存濃度	干渉	単独の場合
ブタン, プロパン	10%以下	影響しない	先端で黒色に変色
一酸化炭素	500ppm以上	黒色に変色	500ppmで黒色に変色
二酸化イオウ, 二硫化炭素		+	白色に変色
二酸化炭素		影響しない	変色しない
二酸化窒素	2ppm以上	+	2ppmで茶色に変色
硫化水素	1000ppm以下	影響しない (1回吸引のみ)	※

※前処理管の除去能力を越える場合、検知剤は硫化水素により白色に変色する。

校正用ガス

高压ガス容器詰法